

平成21年6月5日・パシフィコ横浜会議センター

第52回日本腎臓学会総会 特別企画3  
男女共同参画委員会企画

# 腎臓学の専門性を広げる多彩なモデル ～男女共同参画の立場から～

## 日本腎臓学会男女共同参画委員会の これまでの展開

財 ) 田附興風会医学研究所 北野病院腎臓内科  
武曾恵理

# 日本腎臓学会男女共同参画委員会の 設立の経緯とその歩み

- 2006.4.2. 下条文武理事長に腎臓学会の男女参画委員会設立必要性を上奏
- 2006.8.8 菱田明理事長から武曾恵理評議員へ男女共同参画委員会設立案の要請書簡  
「腎臓学会の女性医師を増やし、女性医師の活躍の場を保証し、腎臓学会が男女共同参画社会のありかたにふさわしい組織となる為に、腎臓学会が行うべき行動指針の作成」
1. 役員(理事・幹事)や委員会・連絡委員などのメンバーに女性医師の数を増やす。
  2. 中堅女性医師の学会活動への参加を支援し、学会での査読委員・座長への積極的登用など、将来の役員候補の育成に取り組む
  3. 他の女性医師の会とも連動して、支援策をまとめ、若い女性医師の意見を訊くアンケートの実施他
- 2006.8.12 「日本腎臓学会男女共同参画委員会設立にむけて」送付
- 2006.10.23 委員会委員の陣容決定、企画委員長、理事長承認
- 2006.12.4 日本腎臓学会理事会で委員会設立と基本方針の承認**
- 2007.5.26 第50回日本腎臓学会学術総会(菱田明会長)  
特別企画:男女共同参画委員会設立シンポジウム開催  
「男女で育む腎臓学会の未来像・女性腎臓専門医へのキャリア支援」
- 2008.4.1 男女共同参画委員会委員の理事・評議員・学会各委員への委嘱

その後、総会、各部会でシンポジウム、パネルディスカッションを開催

# 日本腎臓学会男女共同参画委員会

## Mission(使命)・Goal(到達目標)・Strategy(方策)

**Mission (使命)**: より多くの医師が、個々の仕事、生活の多様性を尊重しつつ、  
腎臓学への取り組みを通じて男女共同で支える豊かな医療を推進する

### Goal (到達目標)とStrategy (方策)

1. 次世代の腎臓学の担い手を育てるため、増えている女性医師への啓発、広報をおこなって  
専門医志望者の増加をうながしゆとりある医療、研究の場を提供する
  - ・初期研修での腎臓学の啓発と女子医学生への教育(研修セミナーへの参加)
  - ・HPでの、委員会設立広報(設立完了, 広報中)
  - ・総会でのシンポジウム開催と展示ブースの開設(実行中)
  - ・国内外の学会との連携
2. 各部門のリーダーとなる医師を性差なく押し上げ、男女共同して腎臓学の医療、研究、教育の充実をはかる
  - ・人材発掘と登用(女性評議員、座長の増加)
  - ・役員内の男女均衡アクションによるサポート(各委員会への女性評議員の参入)
3. あらゆる生活の局面で、腎臓学の高い専門性を維持してキャリアを途絶えさせないシステムを構築する
  - ・育児中の常勤、非常勤医受け入れ施設の広報(アンケート実施)
  - ・現場復帰プロジェクト(卒前、卒後研修委員会)(第2回アンケート実施)
  - ・認定医、専門医制度の改変(改変完了)
  - ・日本透析医学会との連携(日本透析医学会男女共同参画委員会との協働)
4. 職場環境、家庭環境に応じた参加しやすい学会運営を目指
  - ・託児所の設置を常態化(実行中)
5. 成長途上の医師が腎臓学と取り組む上での問題に直面した際、孤立を防ぎキャリア継続と向上への意欲をサポート
  - ・相談窓口の開設(実行中)

# 今後の展開予定

## 心がけること

- 施策の振り返りを怠らない。
- 変化を楽しむ柔軟性を保つ。

1. 現状の再確認→会員アンケート実施
2. 委員会活動のすそ野の広がりを目指して。
  - オブザーバー、タスクフォースのノミネーション  
(募集と依頼)→協働の開始
  - 男女比の均等化をさらに目指す。
3. 評議員メールを通じた活動からのメッセージ
  - トップ層、指導者層に向けて。
  - 若い会員に向けて。
4. 学術活動への参画の推進
  - **Clinical experimental nephrology(CEN)のeditorial boardへ**  
の女性キャリア会員の推薦
  - ASN, ISN, での協働推進